



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東
 コード番号 4171 URL https://corporate.gii.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,942	—	367	—	389	—	260	—
2020年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 260百万円(—%) 2020年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	96.16	89.28
2020年12月期第3四半期	—	—

(注) 2020年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の数値及び2021年12月期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,301	1,626	70.7
2020年12月期	1,919	1,351	70.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,626百万円 2020年12月期 1,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,561	18.9	458	43.1	493	48.7	331	29.6	122.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正及び連結業績予想の修正については、本日(2021年11月12日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	2,735,700株	2020年12月期	2,625,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	41株	2020年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	2,707,546株	2020年12月期3Q	—株

(注) 当社は2020年12月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予定の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)における世界経済は、ワクチン接種の進展や景気回復期待から、欧米を中心に回復基調となりました。日本国内においても、ワクチン接種が進み、状況の改善がみられますが、変異株による感染再拡大の懸念もあり、引き続き先行き不透明な状況で推移しております。

当社が属する市場調査レポート出版業界においては、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社は引き続き今期を初年度とした3か年の「2021 中期経営計画」に基づき、各種施策に取り組んでおります。仕入先との関係においては、引き続き良好な関係の維持・強化に努め、特定の商品カテゴリーに偏ることなく、幅広い顧客ニーズに対応しております。取扱商品の増加に対応するため、商品登録プロセスを効率化し、機械翻訳の活用による省力化を推進しております。販売面では、WEB会議システムを使用した「オンライン試読」により営業活動の効率化を図り、コロナ禍においても引き続き多くのお客様に取扱商品を確認していただく機会を提供しております。また、WEBサイトの全面的なリニューアルを実施することで利便性を向上し、外部のプレスリリース配信を活用することにより、積極的な情報発信等も行っております。上場による認知度の向上に加え、各種WEBマーケティング施策により、当社のブランド向上に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,942,573千円、営業利益は367,540千円、経常利益は389,593千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は260,355千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

(a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、本社部門において、日本国内の多くの顧客企業の会計年度末にあたる3月に向けて、多くの注文を受けました。当第3四半期連結会計期間においても、各種WEBチャネルを利用したマーケティング活動による当社WEBサイトへの訪問者数増加の好影響により、前年同期の売上高を大きく上回りました。海外部門においては、引き続き韓国支店が好調に推移し、こちらも売上高が前年同期を上回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比29.1%増の1,651,695千円となりました。

(b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門の売上高が前年同期と比較して下回るものの、海外部門の主要である韓国支店及び台湾支店の売上高は前年同期を上回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比2.6%増の100,417千円となりました。

(c) 委託調査事業

委託調査事業は、本社部門においては、大型調査案件の受注等もあり、売上高が前年同期を大きく上回りました。一方で、海外部門においては、売上高が前年同期を下回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比28.8%増の138,363千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、当社が取り扱う会議・展示会は引き続きオンラインで行われました。当第3四半期連結会計期間も低調に推移しており、本社部門、海外部門の両方において、売上高は前年同期を大きく下回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比89.2%減の5,278千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は1,895,754千円となり、セグメント利益(営業利益)は387,912千円となりました。

(その他事業)

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT（モノのインターネット）向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の販売、受託開発等を主な事業にしております。新製品の研究開発による先行費用の発生及び電子部品の供給不足の影響等により、売上高は46,818千円となり、セグメント損失（営業損失）は25,771千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末と比較して381,859千円増加して、2,301,821千円になりました。

流動資産の残高は、374,434千円増加して、2,211,334千円になりました。この主な要因は、現金及び預金の395,961千円増加の一方で、売掛金の32,084千円減少等によるものであります。

固定資産の残高は、7,425千円増加して、90,487千円になりました。この主な要因は、繰延税金資産の9,759千円増加等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比較して106,871千円増加して、674,886千円になりました。

流動負債の残高は、95,624千円増加して、415,769千円になりました。この主な要因は、未払法人税等の101,149千円増加の一方で、支払手形及び買掛金の17,222千円減少等によるものであります。

固定負債の残高は、11,247千円増加して、259,117千円になりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の9,780千円増加等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比較して274,988千円増加して、1,626,934千円になりました。この主な要因は、資本金の45,993千円増加、資本剰余金の47,458千円増加、利益剰余金の181,605千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は70.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「配当予想の修正（増配）及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,517,602	1,913,563
売掛金	239,515	207,430
商品及び製品	107	537
原材料及び貯蔵品	7,196	15,671
前渡金	63,637	59,785
その他	8,840	14,346
流動資産合計	1,836,899	2,211,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,090	24,535
工具、器具及び備品（純額）	3,194	2,722
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	41,224	40,197
無形固定資産		
商標権	205	187
ソフトウェア	4,132	3,346
その他	465	465
無形固定資産合計	4,803	3,999
投資その他の資産		
繰延税金資産	9,880	19,640
その他	27,151	26,649
投資その他の資産合計	37,032	46,290
固定資産合計	83,061	90,487
資産合計	1,919,961	2,301,821

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,218	87,995
未払金	19,686	15,209
未払法人税等	4,546	105,696
未払消費税等	35,427	56,622
前受金	126,843	115,950
賞与引当金	3,792	14,081
その他	24,630	20,213
流動負債合計	320,144	415,769
固定負債		
退職給付に係る負債	18,020	19,487
役員退職慰労引当金	229,850	239,630
固定負債合計	247,870	259,117
負債合計	568,014	674,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,075	137,068
資本剰余金	69,575	117,033
利益剰余金	1,190,846	1,372,452
自己株式	—	△68
株主資本合計	1,351,496	1,626,484
新株予約権	450	450
純資産合計	1,351,946	1,626,934
負債純資産合計	1,919,961	2,301,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,942,573
売上原価	1,063,039
売上総利益	879,533
販売費及び一般管理費	511,993
営業利益	367,540
営業外収益	
受取利息	144
為替差益	15,562
債務勘定整理益	6,552
助成金収入	185
その他	120
営業外収益合計	22,565
営業外費用	
上場関連費用	266
その他	245
営業外費用合計	512
経常利益	389,593
税金等調整前四半期純利益	389,593
法人税、住民税及び事業税	139,032
法人税等調整額	△9,759
法人税等合計	129,272
四半期純利益	260,320
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△35
親会社株主に帰属する四半期純利益	260,355

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	260,320
四半期包括利益	260,320
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	260,355
非支配株主に係る四半期包括利益	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月24日に東京証券取引所JASDAQスタンダード市場に上場いたしました。上場にあたり、2021年1月25日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行75,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ41,745千円増加しております。

さらに当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使による払込みにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,248千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は137,068千円、資本剰余金は117,033千円となっております。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,895,754	46,818	1,942,573	—	1,942,573
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,895,754	46,818	1,942,573	—	1,942,573
セグメント利益又は損失 (△)	387,912	△25,771	362,140	5,400	367,540

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去5,400千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積り・判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。